



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 三菱製鋼株式会社

コード番号 5632

URL <http://www.mitsubishisteel.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 佐藤基行

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 細谷光明 (TEL) 03(3536)3135

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	30,595	6.9	259	△78.8	174	△85.8	194	△72.1
30年3月期第1四半期	28,630	19.8	1,226	60.9	1,232	189.7	697	200.5

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 △1,011百万円( —%) 30年3月期第1四半期 467百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	12.64	—
30年3月期第1四半期	45.31	—

※平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合をしております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	150,732	70,634	40.9
30年3月期	153,357	72,204	40.9

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 61,680百万円 30年3月期 62,648百万円

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る総資産及び自己資本比率については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等になっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	2.50	—	35.00	—
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	25.00	—	35.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合をしております。平成30年3月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合後の金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合後の基準で換算した平成30年3月期の1株当たり年間配当金は60円となります。

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	65,000	12.2	930	△45.2	310	△79.9	380	△53.2	24.70
通期	140,000	17.9	5,000	55.3	4,500	58.6	3,000	3.3	194.99

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### ※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 （連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
 新規 一社（社名） — 除外 一社（社名） —

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期1Q	15,709,968株	30年3月期	15,709,968株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	325,258株	30年3月期	325,198株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期1Q	15,384,744株	30年3月期1Q	15,385,634株

※平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合をしております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、本予想に関する事項は添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(追加情報)	8
3. 補足情報(連結)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成30年4月～平成30年6月)における当社グループを取りまく経営環境は、建設機械業界において、国内では排ガス規制の駆け込み需要のあった前年を下回るも堅調に推移し、海外も好調な中国の需要を中心に堅調に推移しました。自動車業界においては、米国の追加関税政策に対する不安感はあるものの、国内・海外ともに堅調に推移しました。

このような状況下、当第1四半期連結累計期間の売上高は、特殊鋼鋼材事業及び素形材事業において、原材料価格等上昇分に対する売価対応が進んだことと、新たにインドネシア鋼材事業合弁会社(JATIM社)を連結子会社化したことにより、前年同期比19億6千5百万円(6.9%)増収の305億9千5百万円となりました。営業利益は、ばね事業において、材料費用増に対する売価対応の遅れや北米子会社の販売減等の影響により損失を計上したことと、特殊鋼鋼材事業において、JATIM社の損失を計上したこと等から、前年同期比9億6千6百万円(78.8%)減益の2億5千9百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1億9千4百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

特殊鋼鋼材事業につきましては、建設機械向けを主体とした需要が堅調に推移したこと並びに原材料価格等上昇分に対する売価対応を進めたことに加え、前連結会計年度末からJATIM社を子会社化したことにより、売上高は、前年同期比26億1千7百万円(19.9%)増収の157億4千8百万円となりました。営業利益は、国内では売価対応を進め原材料価格等のコスト上昇影響を補うことができ、前年同期並みであったものの、一方、子会社化した販売拡大の途上にあるJATIM社において営業損失を計上したため、前年同期比3億2千9百万円(44.6%)減益の4億8百万円となりました。

ばね事業につきましては、自動車業界向け及び建設機械向け需要は堅調に推移したものの、北米子会社の販売減等が大きく、売上高は、前年同期比1億1千2百万円(0.9%)減収の118億6千7百万円となりました。営業利益は、材料費用の増加に対する売価対応へのタイムラグがあることと北米子会社での販売減及び鉄鋼関税強化による費用増の影響等により、前年同期比4億4千7百万円減益の5千8百万円の損失となりました。

素形材事業につきましては、市場が堅調に推移する中、売価対応等も進み、売上高は、前年同期比2億2千9百万円(9.2%)増収の27億9百万円となりました。営業利益は、主に売価対応において、合金サーチャージ制によるタイムラグが残り、売価が追い付かなかったこと等により、前年同期比1億7千9百万円減益の6千7百万円の損失となりました。

機器装置事業につきましては、製缶製品等の売上げは伸長したものの、鍛圧機械の売上減により、売上高は、前年同期比1億2千2百万円(7.5%)減収の15億8百万円となりました。営業利益は、売上減の影響により、前年同期比1千7百万円減益の7千万円の損失となりました。

その他の事業につきましては、流通及びサービス業等ではありますが、売上高は、前年同期比8千7百万円(9.2%)増収の10億4千4百万円、営業利益は、前年同期比1千6百万円(51.3%)増益の4千8百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金や有価証券(譲渡性預金)の減少等により、前連結会計年度末比26億2千5百万円減少し、1,507億3千2百万円となりました。当第1四半期連結会計期間末の負債総額は、仕入債務及び未払法人税等の減少により、前連結会計年度末比10億5千5百万円減少し、800億9千7百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、その他有価証券評価差額金の増加があったものの、主に為替変動に伴う為替換算調整勘定の減少及び非支配株主持分合計の減少より、前連結会計年度末比15億6千9百万円減少し、706億3千4百万円となりました。なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期(連結)会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末(前事業年度末)の数値で比較を行っております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の業績予想につきましては、平成30年4月27日付当社「平成30年3月期 決算短信」にて発表しました当第2四半期連結累計期間の業績予想を修正しております。

詳細につきましては本日別途開示いたします「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、通期の連結業績予想につきましては、変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,797	12,432
受取手形及び売掛金	29,102	28,404
電子記録債権	5,615	6,257
有価証券	13,600	11,800
商品及び製品	8,316	8,395
仕掛品	4,659	5,747
原材料及び貯蔵品	6,634	6,573
その他	2,241	2,213
貸倒引当金	△8	△3
流動資産合計	84,959	81,820
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,504	9,403
機械装置及び運搬具（純額）	13,715	14,265
その他（純額）	13,880	13,214
有形固定資産合計	37,100	36,883
無形固定資産		
のれん	3,409	4,211
土地使用権	7,856	7,229
その他	1,644	1,563
無形固定資産合計	12,910	13,005
投資その他の資産		
投資有価証券	15,207	15,620
退職給付に係る資産	1,830	1,942
その他	1,527	1,638
貸倒引当金	△177	△178
投資その他の資産合計	18,387	19,022
固定資産合計	68,398	68,911
資産合計	153,357	150,732

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,973	10,375
電子記録債務	6,374	6,172
短期借入金	17,068	17,151
未払法人税等	528	162
その他	5,283	5,090
流動負債合計	40,229	38,953
固定負債		
長期借入金	24,944	24,330
退職給付に係る負債	9,503	9,861
役員退職慰労引当金	147	155
役員株式給付引当金	10	15
その他	6,316	6,781
固定負債合計	40,923	41,144
負債合計	81,152	80,097
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,003	10,003
資本剰余金	3,693	3,693
利益剰余金	49,352	49,006
自己株式	△1,271	△1,272
株主資本合計	61,776	61,430
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,392	4,687
繰延ヘッジ損益	△8	-
為替換算調整勘定	△1,864	△2,759
退職給付に係る調整累計額	△1,648	△1,678
その他の包括利益累計額合計	871	249
非支配株主持分	9,556	8,954
純資産合計	72,204	70,634
負債純資産合計	153,357	150,732

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	28,630	30,595
売上原価	24,154	26,546
売上総利益	4,475	4,048
販売費及び一般管理費	3,249	3,789
営業利益	1,226	259
営業外収益		
受取利息	8	10
受取配当金	141	156
為替差益	43	-
その他	82	57
営業外収益合計	274	224
営業外費用		
支払利息	89	226
持分法による投資損失	156	1
為替差損	-	51
その他	23	30
営業外費用合計	268	309
経常利益	1,232	174
特別利益		
固定資産処分益	61	148
特別利益合計	61	148
税金等調整前四半期純利益	1,293	323
法人税、住民税及び事業税	238	205
法人税等調整額	326	146
法人税等合計	564	351
四半期純利益又は四半期純損失(△)	729	△28
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	32	△222
親会社株主に帰属する四半期純利益	697	194

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	729	△28
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45	295
繰延ヘッジ損益	-	8
為替換算調整勘定	△31	△1,259
退職給付に係る調整額	△81	△25
持分法適用会社に対する持分相当額	△102	△3
その他の包括利益合計	△261	△983
四半期包括利益	467	△1,011
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	428	△427
非支配株主に係る四半期包括利益	38	△584



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当する事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当する事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	特殊鋼 鋼材	ばね	素形材	機器装置				
売上高								
外部顧客への売上高	12,111	11,978	2,434	1,587	518	28,630	—	28,630
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,020	1	46	43	437	1,549	△1,549	—
計	13,131	11,980	2,480	1,631	956	30,179	△1,549	28,630
セグメント利益又は 損失(△)	738	389	112	△52	32	1,219	6	1,226

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通及びサービス事業等を含んでおります。

2. 売上高の調整額は、内部取引の調整額であります。セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	特殊鋼 鋼材	ばね	素形材	機器装置				
売上高								
外部顧客への売上高	14,087	11,863	2,680	1,445	518	30,595	—	30,595
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,661	3	29	63	525	2,283	△2,283	—
計	15,748	11,867	2,709	1,508	1,044	32,878	△2,283	30,595
セグメント利益又は 損失(△)	408	△58	△67	△70	48	261	△2	259

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通及びサービス事業等を含んでおります。

2. 売上高の調整額は、内部取引の調整額であります。セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

(ばね事業)セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間よりGebrüder Ahle GmbH & Co. KGの全持分を取得したことに伴いのれんを認識しております。なお、当該事象によるのれんの計上額は、1,122百万円としておりますが、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された額であります。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

## 3. 補足情報(連結)

(金額単位=百万円)

## 1. 業績

	四半期累計期間				通期		
	前期 29年4月-29年6月	当期 30年4月-30年6月	前第1四半期比増減 増減率(%)		前期実績 30年3月期	※当期予想 31年3月期 増減率(%)	
売上高	28,630	30,595	1,965	6.9	118,742	140,000	17.9
営業利益	1,226	259	△966	△78.8	3,219	5,000	55.3
経常利益	1,232	174	△1,057	△85.8	2,837	4,500	58.6
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	697	194	△502	△72.1	2,904	3,000	3.3
1株当たり四半期 (当期)純利益	45.31	12.64			188.79	194.99	

※平成30年4月27日公表

## 2. 四半期毎の業績推移

	前期 (30年3月期)				当期 (31年3月期)
	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)	第3四半期 (10~12月)	第4四半期 (1~3月)	第1四半期 (4~6月)
売上高	28,630	29,288	29,863	30,960	30,595
営業利益	1,226	469	728	794	259
経常利益	1,232	313	634	656	174
親会社株主に帰属 する当期純利益	697	114	265	1,828	194

## 3. セグメント別売上高推移

	前期 (30年3月期)				当期 (31年3月期)
	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)	第3四半期 (10~12月)	第4四半期 (1~3月)	第1四半期 (4~6月)
特殊鋼鋼材	13,131	12,581	12,528	14,683	15,748
ばね	11,980	12,130	12,423	11,364	11,867
素形材	2,480	2,447	2,821	3,038	2,709
機器装置	1,631	2,359	2,262	3,075	1,508
その他	956	1,007	970	980	1,044
調整額	△1,549	△1,237	△1,143	△2,181	△2,283
合計	28,630	29,288	29,863	30,960	30,595

## 4. 要約連結貸借対照表

科目	前期 30年3月末	当期 30年6月末	増減	科目	前期 30年3月末	当期 30年6月末	増減
流動資産	84,959	81,820	△3,138	負債	81,152	80,097	△1,055
現預金等	28,397	24,232	△4,164	営業負債	17,348	16,548	△800
営業債権	34,718	34,662	△56	有利子負債	42,013	41,482	△531
たな卸資産	19,610	20,716	1,105	その他	21,790	22,066	276
その他	2,232	2,209	△23				
固定資産	68,398	68,911	513	純資産	72,204	70,634	△1,569
有形固定資産	37,100	36,883	△216	株主資本	61,776	61,430	△346
無形固定資産	12,910	13,005	94	その他の 包括利益累計額	871	249	△621
投資その他資産	18,387	19,022	635	非支配株主持分	9,556	8,954	△601
資産合計	153,357	150,732	△2,625	負債純資産合計	153,357	150,732	△2,625